



協力会社とともに

フジタの考え方・体制

当社では協力会社にも安全・品質・環境などに関する当社の方針を理解してもらうことがお客さま満足の上につながると考えています。協力会社を「ものづくりの主役であり、フジタの建設事業の重要なパートナー」と位置づけ、協力会社組織として「フジタ全国連合藤興会」を構成しています。事業拡大にともない当社にとって協力会社はさらに重要な存在となっており、これまで以上にパートナーシップを強化し、協力会社社会に加盟する企業の事業の安定化や共に成長できる体制づくりを目指しています。

適正な調達の実践

当社は「フジタグループ企業行動基準」「調達規程」「調達業務要領」「大和ハウスグループ CSR調達ガイドライン」などに基き、協力会社との共存共栄を目指した透明性のある調達を実践しています。調達の基本方針としては、施工技術力の基盤である協力会社との連携のほか、大和ハウスグループの一員としてのメリットを生かし、お客さまからのニーズに応えた高品質な建物を提供する確かなパートナーとして協力会社の選定をしています。

大和ハウスグループ CSR調達ガイドライン

「大和ハウスグループ CSR調達ガイドライン」は右記の通り3つの方針で構成され、社会性や環境性について取引先に遵守していただきたい規範を示しています。「取引先行動規範」と「企業活動ガイドライン」は、取引先が当社と取引する上での、組織としてあるべき姿を示したものとなっています。また、「物品ガイドライン」は、当社のサプライチェーンにおいてリスクが高く、かつ物品としてサプライチェーンの上流まで監査が可能な「建材などの化学物質」「木材などの生物多様性」の管理方針を示しています。引き続き、大和ハウスグループ全体でのシナジーを創出すると共に、今後さらに高みを目指した基準をクリアして環境に配慮した事業を推進していきます。

1. 取引先行動規範(Code of Conduct)

社会性・環境性についての7つの原則

- 1) お客様との信頼関係の構築
- 2) コンプライアンスの確立
- 3) 労働安全・衛生への配慮
- 4) 公正な事業活動
- 5) 環境の保全
- 6) 地域との共創共生
- 7) 人権の尊重

2. 企業活動ガイドライン

社会性・環境性についての20の具体的事項

3. 物品ガイドライン

取引先が調達し当社に納品する物品(建材など)の環境性・社会性についての基準
下記2つのガイドラインより構成

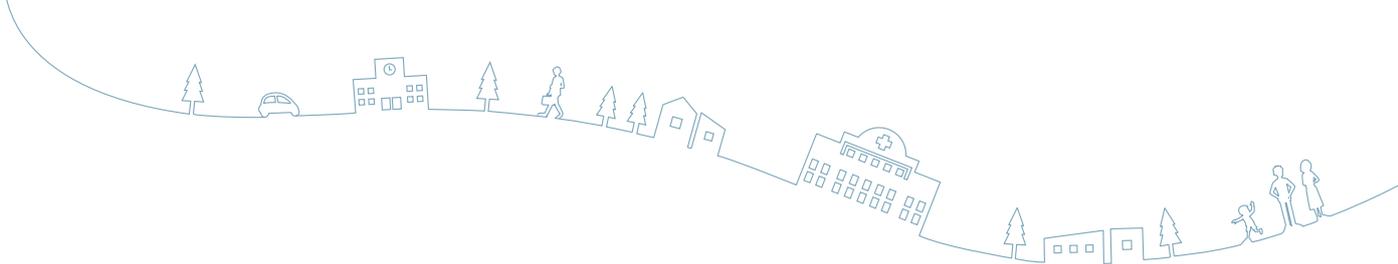
- 1) 化学物質管理ガイドライン【基本編】
- 2) 生物多様性ガイドライン【木材調達編】

大和ハウスグループ CSR調達ガイドライン
https://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/pdfs/csr_procurement_guidelines.pdf

認証木材の調達に関する取り組み

当社は大和ハウスグループが定める「生物多様性ガイドライン【木材調達編】」に基づき、適正な調達を実践しています。違法伐採による木材を使用しないよう「CSR木材調達調査」を毎年行なっています。2020年度は、木材を扱い施工を行う協力会社65社に調査を依頼しました。その結果、Sランク木材の使用率86.2%、Cランク木材使用率は1.3%と、前年度の実績、Sランク木材の使用率81.1%、Cランク木材使用率5.7%から大幅に改善しました。今後も引き続き、取引会社への改善依頼や個別の指導など認証木材の調達を推進していきます。

2021年度はCランク木材使用率ゼロを目指すとともに、中期経営計画の集大成としてさらに高い目標を設定し、適正な調達に向け注力していきます。



労働環境の向上に向けて

職場環境の向上に向けた問題点の顕在化、クリーンな取引関係を醸成するため、大和ハウスグループ取引先アンケート調査を年に1回実施しています。2020年度はフジタ全国連合藤興会加盟企業約1,200社を対象にインターネットを利用した匿名の調査を実施しました。

また、大和ハウスグループパートナーズ・ホットラインを導入し、取引先からの通報制度体制を構築しています。このホットラインについては2020年度に実施した取引先アンケート調査において、周知が課題であるとの結果が浮き彫りとなりました。今後さらなる浸透に向けて取り組んでまいります。また、フジタ独自の通報窓口「企業倫理ヘルプライン」も設けており、協力会社の社員より個別の相談も寄せられ、労働環境の改善につなげています。

2024年度には建設業にも改正労働基準法に基づく罰則付きの時間外労働の上限規制が適用されることを踏まえ、フジタ全国連合藤興会加盟企業と作業所の週休2日の実現に向けた「働き方改革」の推進にも取り組んでおり、労働環境の向上を目指しています。

Topics

建設キャリアアップシステム (CCUS) への取り組みを支援

建設作業員一人ひとりの就業実績や資格を登録し、技能の公正な評価、建設作業員の処遇改善につながるシステムである建設キャリアアップシステム (CCUS) の適正な運用と加入促進に取り組んでいます。

2021年2月からは、当社が協力会社に代わり代行申請を開始し、協力会社の登録支援と登録者の拡大を図っています。また、CCUS登録技能者用にヘルメットシールを作成し、作業所でのCCUS登録技能者の見える化による技能者登録の促進と、作業所における就業履歴蓄積数の向上を目指した取り組みも行なっています。今後も協力会社と連携し、事業者登録および技能者登録の拡大への取り組みを支援していきます。



CCUS登録技能者用ヘルメットシール



Comment

フジタ全国連合藤興会は、フジタの協力会社組織として全国11地区、約1,200社が加盟し、それぞれの地域においてフジタの重要パートナーとして安全推進活動をはじめ、品質、環境、生産性向上などさまざまなテーマで活動を展開しています。そして各地域での活動と合わせて全国レベルでも連携を取りながらフジタと藤興会会員各社の発展のために日々力強く活動しております。さらに、次代の藤興会を担う二世会の活動も活発で、藤興会行事への参画や研鑽事業の実施などを通して全国各地で活躍しております。

2020年度以降、特に建築部門における競争が激化し、受注環境が大変厳しい状態が続いていると認識しております。フジタの頼れるパートナーとして、各社における原価低減努力はもとより、藤興会として各社の知恵

を結集して川上段階で原価低減につながる提案をすることで、フジタの受注につなげるのが喫緊の課題であると考えております。

また、2024年度の改正労働基準法に基づく罰則付きの時間外労働の上限規制の建設業への適用を踏まえて、「働き方改革」についても取り組みを強化していく必要があると考えます。各社間での情報交換も密にしながら、建設キャリアアップシステムの推進をはじめとする作業員の待遇改善や、作業所における生産性向上への取り組みを加速して、フジタと共に4週8閉所の達成に向けて注力していく所存です。

今後もフジタと藤興会会員各社の発展のために努力を重ねるとともに、希望と魅力にあふれる建設業を確立すべく活動を進めてまいります。



フジタ全国連合藤興会
会長
平岩 敏和様